

蓼科という素晴らしい場所で人々を癒やしてゆく



ゲストインタビュアー

野村 将希

特別 対談

代表取締役 向井 香保利

長野県・蓼科の緑豊かな森に囲まれ、ゆったりとした豊かな時間を過ごすことができる『ペンション Andante』。こだわりのオーディオルームや蓼科の高原野菜を使った手作りの洋食などお勧めの、充実した宿泊施設だ。深く人と関わる仕事を続けるとともに、蓼科という素晴らしい場所を人々に発信したいという思いで同所を運営している向井社長のもとを、本日は野村将希氏が訪問。インタビューを行った。

「本日は長野県・蓼科の緑豊かな森の中にたたく、『ペンション Andante』さんにお邪魔しました！とても素晴らしい環境ですし、建物も可愛らしいですね。ありがとうございます。私は神奈川県川崎で生まれて横浜で育ったのですが、ここ蓼科は私にとって第二の故郷のような存在で、大好きな場所なんです。というのも、母方の祖父母がこの近くで旅館を営んでいたんですね。それで学校が休みの時には、両親が私を連れて旅館の手伝いに行っていたので、1年の3分の1ほどは、蓼科で過ごしていました。小さいころはお客様のお部屋に遊びに行くと、皆さんお相手をしてくださるんです。それがとても嬉しく、楽しい時間だったんですよ。」

クルで異動があり、県内の様々な高校を回るのですが、どこに行っても生徒が可愛くて、皆のことが大好きでした。ただ、私は59歳まで教師として勤めていたのですが、最後の6年ほどは管理職になりました。生徒と接することも少なくなったことが寂しく、第二の人生を考えるようになったのです。そして教師として子どもたちと関わってきた経験から「深く人と関わっていろいろな仕事をしたい」と思いました。その中で、祖父母が旅館を営んでいたことや子どものころの楽しかった記憶、蓼科の自然の素晴らしさを思い出して、ペンションを経営することを決意しました。

も無理を聞いてもらって、早期退職させていただいたんです。そうしてこちらをオープンしたのが、2022年4月のこと。宿泊業と教育では全くフィールドが違いますが、教育現場での経験から少しは人の心の機微を理解できる力が備わったかなと思いますし、前職でお世話になった方々には、本当に感謝しています。そうした経験も、宿泊業でも活かしていけたらと思っています。

立ち上げから約1年ですが、開業されてみていかがでしたか。

お陰様で順調です。私の夫も個人事業主なのですが、他の仕事をしつつ、2人でマイペースに運営することができています。当ペンションはお庭にリスや鳥が遊びに来るような緑豊かな森にあり、自然に癒やされ、のんびりとした時間をお過ごしいただけることができます。レストランには大きな窓から陽が差し込み、蓼科の景色を望むことができます。客室は全てカーペット

を敷いた洋室で、シングルルーム、ツインルーム、ファミリールーム、特別室の4タイプ。小規模な宿のため、とても静かな環境で、リラククスしておくるぎいいただけます。

「向井社長はこの事業を手掛けるまでは、どのような道を歩んでこられて？」

私は大学を卒業した後、神奈川県の高尾高校で国語の教師をしていました。県立高校の教師というのは、7、8年ほどのサイクルで異動が繰り返されるので、1年ごとに異動が繰り返されるので、どこに行っても生徒が可愛くて、皆のことが大好きでした。ただ、私は59歳まで教師として勤めていたのですが、最後の6年ほどは管理職になりました。生徒と接することも少なくなったことが寂しく、第二の人生を考えるようになったのです。そして教師として子どもたちと関わってきた経験から「深く人と関わっていろいろな仕事をしたい」と思いました。その中で、祖父母が旅館を営んでいたことや子どものころの楽しかった記憶、蓼科の自然の素晴らしさを思い出して、ペンションを経営することを決意しました。

掃除やベッドメイクもありますし、ご夕食のための買い出しや仕込みもあり、両立が難しくなりました。何でもやってみようという気持ちで、試行錯誤をしながら進めていきたいと思います。

「これからがますます楽しみです。今後についてはどのような展望をお持ちでしょうか。」

ここ蓼科は、かつては軽井沢と並ぶほどの有名な避暑地だったんです。別荘が多く、大勢の人が集まって、とても華やかな時期がありました。祖父母の旅館にも多くの方々が訪れ、中には有名な俳優さん、タレントさんなどもおられたんです。今も蓼科には別荘がたくさんありますが、当時に比べれば元気がなくなりました。感じます。ですから、蓼科の魅力を発信し、たくさんの方々に素晴らしい場所であることを知ってもらいたいと思っています。自分ができることは知れているかもしれないですが、少しでも蓼科のために貢献したいという思いを胸に抱いていきたいですね。

「大変強い思いを抱いておられます。私も陰ながら応援させていただきますよ！」

Column

「山歩きと音楽の宿」の看板が立てかけられている『ペンション Andante』。雄大な八ヶ岳を望み、緑豊かな森に囲まれた素晴らしいロケーションが自慢で、気ままな一人旅からカップル、グループ、ファミリーまで、様々な客層の客たちが快適に過ごすことができる。

「音楽の宿」とあるように、音楽を楽しむことも同所の特徴の一つだ。スピーカーやアンプなどのオーディオ機器やピアノを完備したオーディオルームが用意されており、大きなソファでゆったりとくつろぎながら、こだわりの音響設備でアナログレコードを楽しむことができるのだ。1階には厚手の暖炉があり、不規則に揺れる炎を見ながらゆったりとした時間を過ごすのもおすすめです。

「向井社長は『Andante』を訪れるお客様に向けて、『蓼科高原の素晴らしさを体感してもらいたい』と話す。都会の人の多さや多忙さなどから疲弊してしまった人も、豊かな自然の中で心身を癒やし、明日への糧としてくれたら。そのためにも単なるペンションではなく、『もう一つの我が家』と思ってもらえるような場所にしたい。『私たちスタッフ一同、家族の一員のような気持ちでお客様をお迎えしていきたいと思っています』と社長は思いを語ってくれた。

「向井社長のお嬢様は横浜に住んでおられ、お嬢様ご夫妻やお孫さんの存在も励みになっている、と語ってくださいました。『毎日楽しくて充実しています』とにこやかに話される姿に、独立以来、とても良い時間を過ごしておられることが窺えましたよ！」

野村 将希：談



山歩きと音楽の宿 [♪]
 ペンション Andante
 長野県茅野市北山 5522-450 滝見平 168-B
 URL : <https://pension-andante.com>

